



東北防衛局広報紙
(東北6県の防衛に関する情報誌)

東北のかなめ

vol. 26

2014.3.27



ひな祭り in TOHOKU town

特集・防衛セミナー開催 ー仙台市ー

- ・三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会
- ・東北方面隊震災対処訓練
- ・日米交流事業
- ・職員採用関係
- ・インフォメーション



がんばろう!東北



防衛省東北防衛局広報委員会編集発行

■ 質疑応答の様子 ■



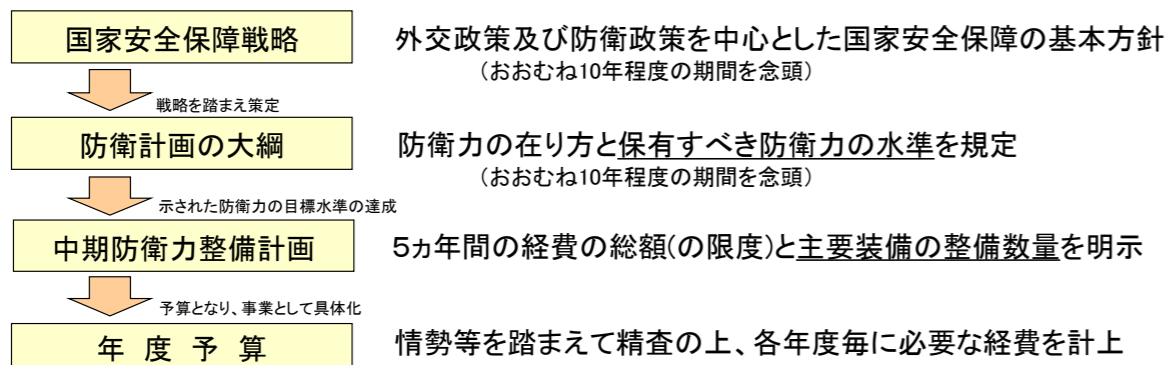
☆若い方から積極的な質問がなされました
(講演・質疑応答の内容は、後日、当局ホームページに掲載します。)

戦略・大綱・中期防の位置付け

位置付け・意義

- **国家安全保障戦略(戦略)**は、我が国の国益を長期的視点から見定めた上で、**外交政策及び防衛政策を中心とした基本方針として我が国として初めて**定めたもの
- 新たな**防衛計画の大綱(大綱)**は、各種防衛装備品の取得や自衛隊の運用体制の確立等は一朝一夕にはできず、長い年月を要するため、中長期的見通しに立つて行うことが必要との観点から、**戦略を踏まえ、今後の我が国の防衛の基本方針、防衛力の役割、自衛隊の具体的な体制の目標水準等を示したもの**
- 大綱に示された防衛力の目標水準等を踏まえ、**5年を対象とする中期防衛力整備計画(中期防)**を策定し、同計画に従って、それぞれ各年度の防衛力整備を実施

戦略・大綱・中期防・年度予算の関係



特集
「防衛セミナー」
仙台市開催

国家安全保障戦略と新たな防衛計画の大綱



—講師—

防衛省 防衛政策局
芹澤清 防衛政策課長

防衛計画の大綱等について要点を絞ってご説明いただきました



—講師—

内閣官房 国家安全保障局
赤瀬正洋 参事官

国家安全保障戦略について体系的にご説明いただきました



—来賓—

仙台商工会議所
鎌田宏 会頭

来賓としてご挨拶いただきました



会場となった「仙台ガーデンパレス」には、約140名が聴講に訪れ、各講師からの熱心な説明に聞き入っていました。聴講者からは、「時宜に合ったテーマ・内容であり、大変参考になった。」「国家安全保障戦略策定の背景を垣間見ることができてよかった。」「今後の自衛隊の体制を確認でき安心して頼もしく感じました。」などの感想が寄せられました。

本セミナーでは、冒頭、主催者である中村吉利東北防衛局長からの挨拶の後、仙台商工会議所の鎌田宏会頭からの挨拶をいただき、引き続き、内閣官房国家安全保障局戦略企画班の赤瀬正洋参事官が「国家安全保障戦略について」と題し、また、防衛省防衛政策局の芹澤清防衛政策課長が「新たな防衛計画の大綱」と題し、スライドを使用しながら分かりやすく講演しました。

平成26年2月26日、東北防衛局は、「国家安全保障戦略と新たな防衛計画の大綱」をテーマとした防衛セミナーを、宮城県仙台市において開催しました。



東北防衛局では、防衛政策や自衛隊の活動などについて、幅広く国民の皆様にご理解をいただくため、平成19年度から東北各地において防衛セミナーを開催しております。



「みちのくALER T2014」に向けて
東北方面隊
震災対処訓練

東北防衛局対策本部で訓練状況等を報告する森山防衛補佐官 (右側制服姿)



東北防衛局の対策本部



宮城県庁に派遣した連絡員 (LO)



連絡協議会開催状況

三沢飛行場周辺
航空事故連絡協議会
航空機事故に備える
東北防衛局

昭和54年発足以来
毎年開催

平成26年2月6日、青森県三沢市に所在する三沢市国際交流教育センターにおいて、「平成25年度三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会」が開催されました。

同協議会は、三沢飛行場周辺において米軍機、自衛隊機又は民間機の航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した際の対処に万全を期するため、昭和54年に発足し毎年度定例で開催しているもので、今回で36回を数えることになりました。

当日は、当局及び米空軍三沢基地第35戦闘航空団など計29関係機関から約60名が出席し、最初に主催者側を代表して東北防衛局の野中企画部長から「航空機事故が発生した場合には事故現場の初



野中企画部長挨拶



三沢空港事務所前任航空管制運航情報官講話



三沢市総務課防災管理室防災企画係長講話

動態勢の対応と連絡体制が重要であり、本協議会参加者の相互理解をより深めていきたい」旨挨拶しました。この後、三沢市総務部総務課防災管理室の富田防災企画係長から「三沢地域防災計画に基づく航空災害対策について」の講話が、また、国土交通省東京航空局三沢空港事務所の鎌田前任航空管制運航情報官から「民間航空機の捜索救難及び航空機事故について」と題し講話が行われました。

東北防衛局が訓練参加

平成26年2月4日から6日までの間、陸上自衛隊東北方面隊は、宮城県沖地震を想定した東北方面隊震災対処訓練を実施しました。

本震災対処訓練は、方面隊の宮城沖地震災対処計画の実効性の検証、震災対処能力の向上を図ると共に、災害派遣時における指揮幕僚活動及び自治体との連携について演練するもので、東北防衛局のほか東北6県、関係市町村、行政防災機関、防災公共機関が参加しました。

東北防衛局においても、東日本大震災の教訓、課題を踏まえつつ震災対処能力の向上（実施する業務内容、手続き等の確認）等を目的に参加しました。

具体的な訓練内容は、①非常呼集訓練、安否確認訓練、②局対策本部の設置、LOの派遣（宮城県庁、東北方面総監部）、

③自衛隊施設の被害情報の掌握、④被害を受けた自衛隊施設の危険度判定等（施設整備調査チームへの派遣に係る調整等）、⑤在日米軍等が震災活動中において事故を起こした場合における調整等です。

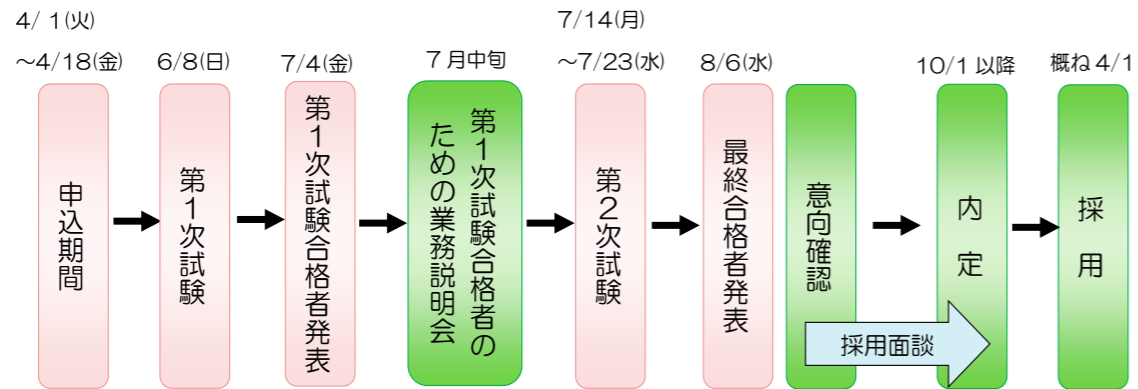
これらの訓練を通じ、職員各自が大規模災害発生時の対応を再確認でき組織全体の対処能力の向上が図れたほか、東北防衛局の震災時の業務内容を陸・海・空自衛隊、自治体及び関係機関等に周知すると共に更なる連携の強化が図れました。

東北方面隊は、平成26年11月に平成26年度東北方面隊震災対処訓練「みちのくALER T(アラート)2014」として実動訓練を実施する予定です。

防衛省専門職員（語学職・国際関係職）採用試験情報

防衛省では、人事院が行う国家公務員総合職及び一般職採用試験の合格者から採用する事務官等とは別に、試験区分「語学」及び「国際関係」について、防衛省専門職員採用試験を実施し、語学職員の採用を行っています。

～採用までの流れ～



受験案内及び受験申込書は東北防衛局で直接受領していただくか、郵便にてご請求ください。請求の方法など防衛省専門職員採用試験の詳細については、防衛省ホームページまたは東北防衛局ホームページをご確認いただけますようお願いします。

新人紹介

平成25年10月1日付で当局に採用となった職員に現在の感想を聞いてみました！



企画部業務課防衛事務官 鹿嶋あや文



三沢飛行場周辺航空事故連絡協議会で業務を行っている鹿嶋事務官（左から2人目）

私は業務課事故補償係に配属となり、在日米軍人等による事件・事故に係る損害賠償業務を行っています。業務内容は事故の調査や損害内容の審査、本省への書類の送付、賠償金の額の決定・支払等です。最初はわからないことばかりで戸惑いましたが、先輩方のご指導のおかげで、少しずつ仕事に慣れてきたところです。多くの法令・資料、英語での表現、仕事のノウハウ等、毎日新しく学ぶことがあり、やりがいを感じます。事故の被害に遭われた方々にスムーズに賠償金が支払われるよう、迅速・正確に仕事を進めることを常に心がけ、精進していきたいと考えています。

日米交流事業

地方協力確保事務 2つの交流事業で日米の小学生らが交流

東北防衛局は、米軍基地が所在する地域の住民と在日米軍関係者がスポーツや文化を通じて相互理解を深めることを目的に、日米交流事業を実施しており、今回は青森県三沢市及び東北町で行った2つの交流事業を紹介します。

第2回 M I S A W A アイスホッケー



ヘルメットも特産物ニンニクの形を使用

平成26年1月25日、東北防衛局は、青森県三沢市に所在する三沢アイスアリーナにおいて、「第2回 M I S A W A アイスホッケー」を開催しました。このイベントは、三沢市内と三沢基地内の小学生を対象に、スポーツを通じてお互いの理解を深めてもらおうと昨年引き続き開催したもので、今年は、日米合わせて昨年を大幅に上回る21チーム、



滑りやすい長靴に悪戦苦闘

約180名の小学生が参加しました。子供たちは、長靴を履き三沢市の特産物をモチーフにした「ニンニク」仕様のヘルメット、「ナガイモ」仕様のスティック、「ホッキ貝」仕様のパックを使い、低学年、高学年に分かれて、アイスホッケーを楽しみました。会場は、ユニークな格好で、リンクに登場した子供たちを見て笑いに包まれ、試合が始まると不規則に転がるパックと滑りやすい長靴に悪戦苦闘する子供たちに、一段と大きな声援と笑い声此起彼伏、大盛り上がりとなりました。

ひな祭り in T O H O K U t o w n

平成26年3月1日、東北防衛局は、青森県上北郡東北町に所在する小川原湖交流センター「宝湖館」において、「ひな祭り in T O H O K U t o w n」を開催しました。

このイベントは、東北町内と三沢基地内の小学生とその保護者を対象に、日本の伝統文化を通してお互いの理解を深めてもらおうと昨年に引き続き開催したもので、今年は、日米合わせて、昨年を大幅に上回る約110名が参加しました。子供たちは押し絵型のひな人形作りや折り紙に挑戦し、保護者たちはひな祭りの手まり寿司を作り、白と杵を使った



手作りひな人形（日本の伝統行事）に挑戦



参加者全員で記念撮影



餅つき体験を楽しむ子供ら

餅つきを体験したあと、参加者全員で、琴の演奏を聞きながら、ひな祭り料理に舌鼓を打つなど、ひな祭り行事を楽しみました。

- INFORMATION -**東北の主な自衛隊広報行事**

自衛隊（東北管内）が今後予定している主な広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
4月	陸 4月13日(日)	郡山駐屯地創立 61 周年記念行事	郡山駐屯地	郡山駐屯地広報班 024-951-0225(283)
	陸 4月13日(日)	船岡駐屯地創立 55 周年記念行事	船岡駐屯地	船岡駐屯地司令職務室 0224-55-2301(211)
	陸 4月19日(土)	仙台駐屯地桜まつり	仙台駐屯地	仙台駐屯地司令職務室 022-231-1111(3861)
	陸 4月20日(日)	弘前駐屯地創立 46 周年記念行事	弘前駐屯地	弘前駐屯地広報室 0178-87-2111(205)
	陸 4月20日(日)	霞目駐屯地創立 57 周年記念行事	霞目駐屯地	霞目駐屯地広報室 022-286-3101(301)
	陸 4月20日(日)	第 6 師団創立 52 周年記念行事 神町駐屯地創立 58 周年記念行事	神町駐屯地	神町駐屯地広報班 0237-48-1151(5898)
	陸 4月26日(土)	八戸駐屯地創立 58 周年記念行事	八戸駐屯地	八戸駐屯地司令業務室広報班 0178-28-3111(2065)
	陸 4月27日(日)	多賀城駐屯地創立 60 周年記念行事	多賀城駐屯地	多賀城駐屯地広報班 022-365-2121(203)
5月	海 5月31日(土)	マリンフェスタ in 大湊	大湊基地	大湊地方総監部広報係 0175-24-1111(2304)
6月	陸 6月1日(日)	第 9 師団創立 52 周年記念行事 青森駐屯地創立 63 周年記念行事	青森駐屯地	青森駐屯地司令職務室 017-781-0161(372)
	陸 6月8日(日)	岩手駐屯地創立 57 周年記念行事	岩手駐屯地	岩手駐屯地広報班 019-688-4311(256)
	空 6月8日(日)	東北町分屯基地開庁 20 周年記念行事	東北町分屯基地	東北町分屯基地総務班 0175-63-3235(202)
	陸 6月15日(日)	大和駐屯地創立 58 周年記念行事	大和駐屯地	大和駐屯地広報班 022-345-2191(201)

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

時日の経つのは早いもので、東日本大震災から 3 年が経ちました。政府を始め各被災地では三周年追悼式が行われ、亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りしたところです。

東北防衛局では、昨年 5 月から広報委員会を設置して、広報紙「東北のかなめ」を発行するなど各種広報活動を行っております。今後も東北各地を訪れて様々な広報活動を実施する予定です。各種イベントで東北防衛局の職員を見かけましたら気軽にお声をかけて下さい。

東北防衛局広報紙「東北のかなめ」に対するご意見・ご感想などありましたら、気軽にお聞かせ下さい。

表紙の写真は、青森県上北郡東北町に所在する小川原湖交流センター「宝湖館」において開催された、日米交流事業「ひな祭り in TOHOKU town」で飾られた 7 段雛飾りです。(写真提供：東北町役場)

